



東北大学災害科学国際研究所

第22回東北大学災害科学研究拠点セミナー
第35回「災害と健康」学際研究推進セミナー
第2回ヒューマンレジリエンス重点研究領域セミナー

レジリエントな社会ってなんだろう？

自然災害からCOVID-19パンデミックを経験する中で、我々はどのような社会を構築し、危機に際して、どのように対応したら良いかを一緒に考えたい。

バイオテロ対策から研究をスタートし、WHO/FAOや国内の食品のリスクアナリシスに関わり、リスクアセスメントやリスクコミュニケーションの課題に直面した。東日本大震災を経て、Iwanumaプロジェクト、JAGESプロジェクトなど地域住民の観点から、ソーシャルキャピタルの影響などを探ってきた。

また新たなパンデミックに遭遇し、どのような社会がレジリエントであるかということを探りたい。「地域包括ケア」「ごちゃまぜ」「当事者視点」「パンデミック対応」といった観点から、これまでの活動を紹介し、一緒に考えたい。



東北大学災害科学国際研究所
災害口腔科学分野 教授

小坂 健 先生

東北大医 東大院修了。国立感染症研究所主任研究官、ハーバード大学公衆衛生大学院客員研究員（タケミフェロー）、厚生労働省等を経て現職。内閣府食品安全委員会微生物・ウイルス専門調査会座長・厚生労働省社会保障審議会専門委員等。

2022年7月21日（木）
16:00～17:30

WEB 開催
(ZOOM)

本セミナーは医学系研究科系統講義コース科目の授業として振替可能です

お申し込み・お問い合わせ

東北大学災害科学国際研究所
「災害と健康」プロジェクトユニット
<http://www.irides-pudh.med.tohoku.ac.jp>



指定国立大
災害科学 世界トップレベル研究拠点